

## 回 覧

### 日本赤十字社の社資募集協力について（依頼）

日赤宗像市地区長 谷井 博美

日本赤十字社は、人道・博愛の理念に基づき、国の内外にわたり災害救護活動をはじめ、医療事業、血液事業、奉仕活動、社会福祉などの事業を推進しています。

これらの事業の活動資金は、ほとんど皆様の善意に基づく社費や寄付金(合わせて『社資』と呼んでいます。)に支えられており、日赤宗像市地区では、毎年皆様のご協力により社資の募集を行っております。

つきましては、社資募集へのご協力をお願いするとともに、誠に勝手ではありますませんが、6月より社資袋、門標交付申請書をそれぞれの地区の方法に沿って、回覧していただきますようお願い申し上げます。

また、集まりました社資は貴自治会の回収方法に沿って回収し、自治会長様にお渡しいただきますようお願いいたします。(自治会長様には8月末を目途にとりまとめをお願いしておりますが、平成28年度内であれば、それ以降でも随時受付いたします。)

#### 社資の納入方法について

社資募集の趣旨にご賛同いただいた方は、回覧に添付している社資袋に現金を入れ、金額等をご記入ください。

なお、社資袋への氏名の記入は任意です。(ただし、合計金額確認作業のため、**金額は必ずご記入ください**)

#### 500円以上で氏名を記入された場合

社費としてのお取り扱いになります。社費を納められた方は社員として登録され、各種表彰の対象となります。表彰の詳細については、同封のチラシをご覧ください。

#### 【表彰例】

500円以上 ... 社資協力証(ステッカー)

回覧に同封しています。対象の方はご自由にお取りください。

1,000円以上 ... プラスチック門標 など

希望者は門標交付申請書にご記入ください。12月下旬ごろに事務局から直接郵送させていただきます。

#### 500円未満の場合又は名前未記入の場合

寄付金としてのお取り扱いになります。

#### 問い合わせ先

日本赤十字社宗像市地区

事務局：宗像市健康福祉部健康課保健福祉政策係

担 当：中村

電 話：36 - 1187 (直通)

F A X：37 - 3046

## 赤十字Q & A

日本赤十字社は、国の機関なのですか？

日本赤十字社は、日本赤十字社法という法律に基づいて設置された特殊法人です。日本赤十字社は赤十字事業の公共性と国際性に鑑み制定されたものであり、世界各国の赤十字社と協力して、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう努めなければならないと規定されています。また、災害救助法に定めるところにより、行政が行う非常災害時の救護業務の補完的な役割を果たしています。

社員制度について説明して下さい。

普通「社員」というと株式会社などの「社員」が頭に浮かびますが、日本赤十字社の「社員」は、日本赤十字社の構成員のことです。「社員」は人種、国籍、信条、性別などによって差別されることがなく、どなたでも加入できますし、脱退も自由です。日本赤十字社の財源は、「社員」の収める社費（年額500円以上）を主たる財源として賄われていますので、社員の拡充こそが赤十字活動をより発展させることにつながります。

社員に加入して社費を収めなくても、寄付金でもいいですか？

赤十字の事業資金は社員の収める社費と寄付金（あわせて社資と呼んでいます）からなっています。寄付金でもありがたいのですが、社員制度が基本になって運営されていますので、社員が増えることによって組織の基盤が強化され、事業の進展につながります。

この趣旨をご理解いただき、ぜひ社員に加入され、赤十字の組織の一員として事業推進にご協力ください。

赤十字の社員加入は強制的なものですか？

決して強制ではありません。赤十字の趣旨や事業を良くご理解していただいたうえで、自由意志でご加入いただくことになっております。

社資は毎年納めなければならないのですか？

赤十字の事業は、輸血や災害時の救助活動など人命に直接かかわる仕事を中心になっていますので、一日たりとも支援の手をゆるめるわけには参りません。また、事業は普遍的なものや長期的なものであるため、毎年安定した資金が必要とされ、その資金を常に準備しておく必要があります。従って、毎年継続して社費納入のご協力をお願いすることになっています。

できる限りのご協力を、よろしく願いいたします。

共同募金（赤い羽根）とはどう違うのですか？

赤い羽根で親しまれている共同募金会は社会福祉事業法に基づいて設立された団体で、毎年10月1日から12月31日までの3か月間を募金期間とし（12月は「NHK歳末たすけあい」）、その浄財は日本国内の民間の社会福祉施設や福祉団体に施設整備や地域福祉活動資金等として配分されます。別団体による募金活動で、日本赤十字社の社資募集とは異なります。